

# ことう地域 チームケア研究会たより



第2号  
平成25年6月10日



去る5月14日に、第2回目の研究会が開催されました。

日時: 5月14日(火) 18:30~20:30

会場: 彦根市立病院 医療情報センター 多目的室

参加者: 79名(医療関係者: 15名、福祉関係者: 36名、行政等: 28名)

今回は、彦根中央病院の管理栄養士中原さんから、栄養居宅療養管理指導の紹介があり、その後、訪問看護の実際について谷川さんより話題提供をしていただきました。話題提供の内容などを含め、参加者が10のグループに分かれ、意見交換を行いました。

以下は当日の様子です。

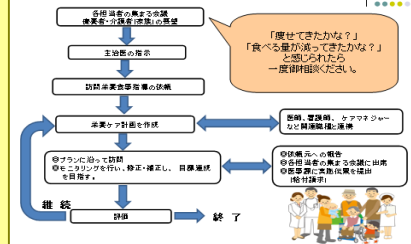
## 話題提供その1 =居宅療養管理指導= 彦根中央病院 栄養科 中原はる恵さん

### 管理栄養士による 居宅療養管理指導とは

通院などが困難な方のご自宅に  
管理栄養士が訪問し、食生活や栄養に関する  
様々な相談に対応します。



### ご利用の流れ



### 指導の実際

## 話題提供その2 =訪問看護 できること・していること= 訪問看護ステーションレインボウとよさと 谷川明実さん

### 訪問看護とは？

- 病気や障害を持った人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活をおくれるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービス。24時間緊急連絡対応体制。
- 医師やケアマネージャー、多職種と連携して**予防的支援から看取りまでを支えます。**
- \* 居宅だけではなく、施設(認知症グループホーム、特養)との医療連携契約により定期的な訪問と緊急時の対応も行っています。

### 訪問看護って何をしてくれるの？

- 健康状態の観察と助言
- 医療処置、治療上の看護
- 日常生活の看護(清潔、排泄、食生活、寝たきり予防のケア、療養環境の整備等)
- リハビリテーション看護(体位交換、関節などの運動や動かし方の指導、ADL訓練、外出、レクリエーションの支援等)
- 精神、心理的な看護(不安な精神、心理状態のケア、服薬ケア、リラクセスのためのケア等)



### 多職種との連携、協働が重要！

- 生活支援に関わるヘルパーさんからの情報は重要。食事の状況、嚥下状態、話し方、歩き方、排泄物の変化等「普段の様子」を知っているヘルパーさんからの情報が悪化予防や早期の対応につながる。
- 施設での様子と自宅での様子の違いからみえてくる課題もある...
- 一人ひとりのQOLを目指して、役割分担や業務範囲を明確にしてチームケアを行いましょう！

### 湖東地域訪問看護事業所 8カ所



- 認知症の看護(認知症状に対する看護・介護相談、コミュニケーションの援助、生活リズムの調整等)
- 介護者の相談(介護負担、健康管理、日常生活に関する相談、精神的支援等)
- 様々な在宅ケアサービス(社会資源)の使い方相談
- 終末期の看護(痛みのコントロール、療養生活、環境の調整、援助、看取りの体制への相談、アドバイス、本人、家族の精神的支援)
- 介護サービス導入が困難なケースで、まずは訪問看護を導入し訪問介護やデイサービスにつながるケースもある。
- オプションでの利用(旅行、外出の同行等)

## グループワーク

★講演を聞いた感想・もっと知りたいこと  
★今、私たちの取り組んでいること など

- ・訪問看護は使い勝手はよいが、支援者が訪問看護の役割を理解することが大切。
- ・入院中の訪問看護利用について、新しい知識が得られた。
- ・病棟との連携が重要。
- ・指示書の依頼は誰が担当するのか、新規ケースには、ケアマネの関与を希望する。
- ・ケアマネにタイムリーに動いてもらうとうれしい。
- ・「何でも頼ってください」(訪問看護)。



こんなこと、お願いできるんだ!

- ・訪問看護のオプションの状況について まずは相談してみるから。
- ・本人の希望をかなえられるといい。
- ・施設でのリハビリは、現状維持が精一杯の状況。
- ・OT・PTがいる施設・事業所はどこなのか?
- ・在宅栄養指導は、どの主治医の指示書でもOK!
- ・社会資源をもっと知りたい、発信してほしい。

居宅療養管理指導では、食事について、改めて考える機会となりました。  
また、訪問看護の方たちからは、「断らないようにしています」「自分たちで難しい時は、他のステーションに連絡します」と、力強くお話しいただきました。



初めて知った!

- ・グループホームに訪問看護 本人の状況や生活の様子が主治医に伝えられる。
- ・服薬の評価は薬剤師。
- ・管理栄養士 直接相談してもらおうとよい。
- ・訪問看護ステーションの特色出してもらいたい、そうすることで選択しやすくなる。
- ・福祉用具の選択のアドバイスをもらえる。訪問看護との連携により可能になる。他業種との連携の必要性を強く感じる。



他はどこにある?

- ・退院後に専門家から言ってもらって食事の改善ができた事例がある。
- ・介護職としては、どんな量でどんな形態でという具体的な指導がもらえると嬉しい。年齢や身体の大きさなどもある。
- ・多職種と連携している。
- ・栄養ケアステーション 住み慣れたまちで最後まで生活できる支援の拠点ができたらいい。

## 自己紹介タイム

テーブルごとに所属とお名前を言っています。



ちょっと緊張するけれど...



ゲスト参加の県庁の角野次長から、この研究会を通じて連携が進むこと、在宅医療福祉の支え手になっていただくことへの期待などなど、激励の言葉がありました。



定例は、..

開催日: 奇数月の原則第2火曜日(変更あり)

18:30~20:30(時間厳守)

次回は...7月9日(火)18:30~20:30

テーマ: 在宅看取り=畳の上で最期を迎えたい=

会場: 彦根市立病院 医療情報センター

※ 申込み不要、当日会場へお越しください

連絡先: ことう地域チームケア研究会事務局(湖東健康福祉事務所)

TEL: 0749-22-1770

# こんなこと、思いました！

## 話題提供に関して、

### 「参考になった点」「もう少し聞いてみたい点」「報告したい点」など

- ・制度改正で外泊時の訪看利用できる事を教えてもらった。  
多職種で情報交換でき、顔と名前が覚えられて大変ありがたい【福祉関係者】
- ・医療保険での訪問看護について、もう少し知りたい【福祉関係者】
- ・訪看において医療と介護の違いや誰にどのように相談すればよいか医師に相談することができて良かった。【行政等】
- ・施設との契約のなかで訪看の導入が出来ること施設へ報告させていただきOT,PTの導入における参考にさせていただきたい【福祉関係者】
- ・訪問介護さんとの連携について通所介護でももう少し詳しく知りたいと思いました。勉強したいと思います。また参加させて頂きたいと思います【福祉関係者】
- ・訪看さんから直接色々きくことができてよかったです。訪問栄養指導についても機会があればぜひ活用したいです。(日々の集いで食事が減ってきた、痩せてきたなど相談もあるので)【行政等】
- ・服薬状況が分かりにくいし、要支援などサービス提供回数に制限が有る場合がなかなか大変だなと思いました。在宅に病院の方が以前より多く出ていることが良かった【福祉関係者】
- ・訪問看護の利用、小規模のデイサービスで看護師のいないデイサービスに訪問は出来るのですか？
- ・栄養指導について存在に気がついていなかった。訪問はいつまで？切り上げ時について【医療関係者】
- ・居宅栄養管理について身近に感じられた。腎機能低下の利用者への食生活アドバイスで透析を防げると活用を考えました。多職種の方との話は大変参考になります。今後も宜しくお願いします【福祉関係者】
- ・口から食べる事(栄養の取り方)重要で又、人間としての幸せもあり是非、指導を受けてもらいたい方がいます。各々の専門が入る事であらゆる角度から見れるので良い
- ・訪問栄養指導について初めて聞く事もあり勉強になった。訪問看護ステーションはもっと積極的に利用できれば、居宅ケア分野の多職種の連携と利用者および家族の安心につながると思う。
- ・訪問栄養指導があることを初めて知った。色々勉強になりました。ありがとうございました
- ・管理栄養指導について知ることが出来て良かったです
- ・居宅療養管理指導の訪問栄養指導や、外泊時の訪問看護利用について勉強になりました
- ・訪問栄養指導について知る事ができて良かった
- ・様々な多職種の方のお話を聞いて知らなかった事も勉強させて頂き、とても勉強になりました【医療関係者】
- ・グループワークの中で色々な立場の方々の意見が聞いて勉強になりました。地域で住民を支える地域包括ケアの考え方も今後みんなで学んでいけたら良いな～と思いました【行政等】
- ・それぞれの立場で悩んでおられる事が、それを直接聴かせて頂き大変参考になり良い学びの機会となりました【医療関係者】
- ・新しいサービスなど情報が得られてよかった (訪問歯科、24時間精神科対応、管理栄養士の居宅管理指導)
- ・質問の答えがこの機会に聞けるとよいと思いました
- ・多職種との交流の中、話のできたのでよかった
- ・栄養士も薬剤師と同じように居宅療養管理指導を行っているのを知れて勉強になった訪問看護師の方が在宅で活躍されている話を聞いて薬剤師も今後、積極的に多職種に信頼されるよう行動していくべきと感じた
- ・多職種の方が集まって色々な意見、情報がもらえるので嬉しかったです。次回も宜しくお願いします
- ・いろいろ参考になりました。具体的な事例があっても良かったと思います
- ・いろんな意見が聞いて今後の事を考えていくことができた。認知症の看護の方法を聞いてみたい
- ・出席しただけでも意義があったと思いました。ありがとうございました【行政等】



## 今後、研究会で聞きたい内容やテーマをお聞かせください

- ・情報のうまい送り方、引き出し方【医療関係者】
- ・主治医との連携、主治医との関わり方、主治医の求める情報等について【福祉関係者】
- ・チームワーク(連携)について
- ・訪問リハビリについても聞きたい
- ・認知症をテーマにした回があればうれしいです！【行政等】
- ・もう少しざっくばらんに話ができる方が良いかと思いました
- ・複合型施設が増えることを願っています【医療関係者】

